役者評判記

チ13
3849
11

都の錦

特
チ13
3849
11

侵者登志男　永之巻

目録　腰をぢり

夢辨慧

ふとつけてゐる　怪家の立

ぬぐらとわげる　燈の仕廻

ふんでようゐる　蔚後手

色事仕

ねまてろもる　紙縒

おひていゐるぬ　侵害人

こひとようろこぶ　業欲婆

女形

ちりしいなり　亀の雪
おりくけている　菊屋切屋
つよひげをする　田舎義太

歌役

こうてよい　安永紙子
わうぬぐちあり　福禄寿
わくらくる　菓の一枚

発早雲長太夫　桑佐世川万菊
発美屋春蔵　桑菊川右左良
発亀屋米之助　桑民屋米之助

▲立役之部

○見立相撲の名にせて左のごとし

極上上吉　沢村長十良　喜多産
名人の芸　絵こ果ぬか　大耳

嵐上上吉　嵐三右衛門　万菊産
義経より男をたつて来る蘇が谷氏

上上吉　中村彩文良　同産
ごこやし義経　れこの高い八角

上上吉　民屋四郎文郎　宇治産
荘厳の新門と産る　ちが湯

市川助五良　同産
弘義会るとし　小天狗

上上書　林山四郎左衛門　米二俵
いんぜんおとハかくべつ上ゑニ成ると戸

上上書　嵐　三郎　万兵庭
ゑ彩色の絵をせい為つさ矢作

上上吉　深の井　半四郎　右同庭
男対ハ色ゑ彩色ハ繁いがんせき

上上吉　佐渡屋長五郎　同庭
西仏寺よりハかるいとの作

上上　桜山四郎三郎　万兵庭
ハ年ニつまてちと評判ゑ入永

上上　深川六郎右衛門　右同庭
ハ沢大きんのどれわかゑ大背

上　岩井伊九郎　同庭
ゑ〜ぶりざこよざこ〜ぶり白岩

上　沢村政五郎　万兵庭
桜山　越七　万兵庭
岩井　岩七　米二俵

上上吉　▲実悪之部

上上吉　三條木儀右衛門　右同庭
藝のまづよさあつたれてろくき

上上吉　市川宗三郎　万兵庭
ぶつちりとあつつさ今碓

上上吉　八幡屋右衛門　右同庭
とき義ハいぶのある八栗山

上上　湯金　半九郎　米二俵
一ちぶニすると大激

▲歌假之部

上上吉　福田園右衛門　米二俵
ろくゆ藝のまちつさ関の戸

上上書　芝川平九郎　万兵庭
ゑぶことそて強ハ和ハ合せ相ぶ

上上吉　松本友十郎　東こぬ産
悪をつくしてくんのうごうね　ゑのり石

上上　篠塚和左衛門　右ゝ産
みくげもなく世おく　長いおく

上上　坂本又十郎　万菓産
毛年菱喜ゆ　菱よ宝よと天記山

上上　岩村竹右衛門　東こぬ産
まちつと悪ゝ実のあいうゑ不松

上上　市山清蔵　同産

上上　撰山亀右衛門　同産

上上　花川左四郎　右ゝ産

▲乙女形之部

上上吉　松浦義平次　東こぬ産
西流のかるにまつくんのうごうと　おりの浦

上上吉　右田十良兵衛　右ゝ産
ろうの浦ゝ世　大ぶ　東こぬ産

上上　大麦　百助　万菓産

上上　稲山又良　右ゝ産　上若松兵助　東こぬ産

▲親仁方部

上上吉　稲屋弥又四郎　万菓産

▲若衆形之部

上上吉　市川和山　万菓産

上上吉　尾上猪右衛門　右ゝ産

上　若葉源四郎　東こぬ産

▲乙女形之部

上上吉　瀬川菊之丞　万菓産
菱ゝくもりのあい月の　熊山

上上吉　佐野川万菓　産ゝ
産なつぐいて一だいおゝとあげ　葉

上上吉　菱屋　大右　東こぬ産
平世でいたんおゝんぐ　高浦

上上吉　芳波　酒江　京屋
ぶんしも功者なるわざ和山
上上吉　松鶴　兵吉郎　東屋
表年より評判がよくなる早川
上上　萩田　大治郎　京屋
お年いまだどうなりても活ぶ十七
上上　芳波　尾上　同屋
わづまかおもりこゝろ吹きるあづ色
上　瀬川　菊沢良　万菓屋
お新とこゝろくるみぢ紫のかが金山
上　大和川　辰弥　東屋
表ゆしよりこゝろくれてんいらんぶ
上　上村　花菓　万菓屋
表がちりぶ見ちりとしいずま
上　菊川　吉良良　屋や
はち表ちり　表ちり　表ちり　

▲万菊屋忠兵衛川子代[illegible]
[illegible]
[illegible]
▲[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
▲[illegible]

止
止

[illegible]
萩壁金十郎　万菊屋
[illegible]
[illegible]
子役　民屋[illegible]
[illegible]　わ[illegible]し　小六　万菊屋

都[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

言葉がくと、三度づゝ、すでゝ、さいく、ぶい、浦
う、度せのもどえ、ゝ、抜ぬて、恵代のかあせ
ゝ金と問義の積金、年月後と世界と
ちまてる、恵ぶ、桝子、桝子、桝子

法印
やまを
ふる
雷
のぞき
やまを
見る
式下女
ちらーぐる
ちくあや
きのどくぐる
親方
まつて
おいでを
ひまを
くどう
結
まげ出る

きてこれがせわしてあがれば方でなく
てかけ合とおどろかしひとりぬけ後へ入られば
ひくくなかれいかいかうだきとうと新板へ
きこのだて女郎みれば変ちりとてさ
いくの部くもきさくどかぶてきこれ消きめ
部ふもきとふ豆ちうこまいあくきさぶ
後で七八きこれ
もるまぶ二文銭まなでまぶ豆ちうこて
なぶこれでわうてわうくもあてきまぶ
いつひまこれ伝ふ家きちうどわくふちだれ
きなどりうこれでぬめうぶ豆ぶ
ぬぬ板ぬもてあぶぬこぶまめこうで
ぬこれぬちうあいちうぬこ
十のきのそちうまくこぶふもきぶで後ぶ

ぬこれれきぬ者ぬ
ぬいてこれ学ぶふぬ豆で抜ひ野くぶさ
ぶ豆ぬ数とこれでれるふ六十ありでくぶいこら
ぶ年部ふぶぬ八数合七十八当で十七ちね年
数ぶたくぬきいくふ学ちう金合板買ことと
ぬぶおれぬ表事ぬきこれ数で文ぶ数ぬ買ハ
いくきこれぬわちうちぶ文十ひきぬひでありう
きぬ長ぶこちうハ部ち十一でぬ今きちうぬ文きこれきぬ
ちうぶかこちうぶたぬくこちうこれ部ぬ待ちうきまくさ
ぬぶおちうきこれきの金これ数ぬ部ぬちうぶこれ
ぬくぬちうぶたこれ学ぶこれこうけこちうね
ぬこれ学ぶきの者これこれひぶくぶ学ぶけ
きぬ長ぶこれ部ぬ部ぶこれでこれこれ十一ハ
ぬこれきぬ学ぶ数ぬ数ぬ学ぶ数ぬ数ぬ数ぬ
きこれこれこれこれこれこれこれこれこれ百

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人がものこしたものづくりをすきあるくことのてまをかれ
女中ばかりにあいさつをせずにかへるつまらぬ
やめて三津はかりをきものをかりて
ぬいでまつのくに（上総国）のうつくしれでぶらりと春をぬ
ぬいだ羽織をまきつけてあしたの
ちいさい人のうちをたずねてみればかれらが
らいてはたらくものなくしかるべきものをとも同じさわる
時分に三津はかりの役人が評判記をよりてかの
あいかたをかれこれとのうつくしかるべきを理で
三人ばかりのうどんをまでもふかぶかをうばいとる
ぶまてこのはかりがわるい家がつくまい家をかを
左衛門はかりに三津は坂田はかりの
さいてはとうかわるいかいまのの
にもかとうえいかいでやそれはさんかりをいい
[illegible]

人をかりをまきあるいてこれをかりをとうとうとう

同

大名黄金鑄

一万菊屋
二番候

[illegible]

[illegible]

上吉 小 [illegible]

[illegible]

[illegible]

つくづくこの狐は尤とうけいたるべき人物なれども
芸事劣る事は大坂と東京とは
三代目菊の独り立ちにて
あるべきもこれ家柄の
芸事場がかくなる
狐は
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上吉

市山助太郎

一万代十四層
三番後
大でけ
大でけ
大でけ
大わり
大わり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いまに今をかぎりとわかれをしたまひしかの
ものがたりをかなしみ給ひ
ものがたりをかなしみ給ひ
ものがたりをかなしみ給ひ

上上

深川ごろ屋つ　京ごろ屋

上

宮井伊兵衛つ　京ごろ屋

上上上上上

政　沢村改之部　万南屋　京ごろ屋

市　伊沢宗之部　万南屋

木　桐山松七　まこも屋

宮井忠七　まこも屋

常盤義金禎
三番續
大わう
大でけ
大わう
大でけ
大わう
大でけ
大でけ
大わう
大でけ

実録くく部

上上吉 ◎ 三原木儀九郎

[評判記の説明] 九郎次郎 和泉井筒月嵐三座大坂ゑびすのびく三実録てつさくまて太夫そまこゝろ前りと
ゝ三座なとこゝまてこゝろ
ゝ三実録なとこゝまてこゝろ
ゝ三実録なとこゝまてこゝろ
ゝ三実録なとこゝまてこゝろ

上上吉 ◎ 市川家三郎

[評判記の説明] 夏祭浪花鑑 評判ちくく

上上吉

八幡宮石塔

[illegible]

上上

[illegible]

後桜町九郎

[illegible]

ことごとくかくまうてのあるまうさうく

▲歌仮名

上書 福 福田雲八郎

[illegible]

一昨年[illegible]

[illegible]

上書 ✱ 長川平九郎 万屋

[illegible]

[illegible]

上書 丹 松本友十郎 [illegible]

[illegible]

上上　藤塚市郎兵衛

上上　坂東又十郎

上上　市山清蔵

上上　横山熊太郎

上上　長川左仁郎

▲乃木部

上上吉　松浦義平次

[illegible]

[illegible]

上上　浅尾七郎次　[illegible]

[illegible]

上　大松百助　[illegible]

上　張山又五郎　[illegible]

上　長松長助　[illegible]

[illegible]

▲新仁形うく郡

上書

[illegible]

▲美車形うく郡

上書

[illegible]

上

[illegible]

上書

[illegible]

[illegible]

上上吉 同 佐野川万菊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉　大吉

[illegible]

上上吉　浪流江

[illegible]

評判記
[illegible]

上上吉　高

松浦兵部

評判記
[illegible]

上上

[illegible]田大炊助

評判記
[illegible]

上上

[illegible]

評判記
[illegible]

上

瀬川菊次郎

評判記
[illegible]

上

大和川辰治　まこの屋

評判記曰　よりど弦義れをかいまつて俳諧がようこざさ・尚教れを子れ女者をうる旅さう
きてやうきうびとかまのびの家・れ事（人名）
刀の男の作者ってまて・はかりの作・まれ力れ
ほうさまは義とびこ・ぜでまが・なるまでは・さく

上

上村　花菊　万菊屋

評判記曰　次第オ俳諧よりてよりどわがくあせうる
尚教れをかいまつて・ぜ・れ事れ・れ作・れ
多所世ってまつ・れの作・流・れ・れ・れ

上

秋松　三枝屋

評判記曰　ひ表大坂でなる木表代・れ・れ
なるって・表女・表・表・表・表・表・表
表ざ・ってけ・ざ・ざ・ざ・ざ・ざ・ざ・ざ
教れをけ・れ・れ・れ・れ・れ・れ・れ・れ
う・表・表・表・表・表・表・表・表・表
ま・ってけ・ま・ま・ま・ま・ま・ま・ま

上

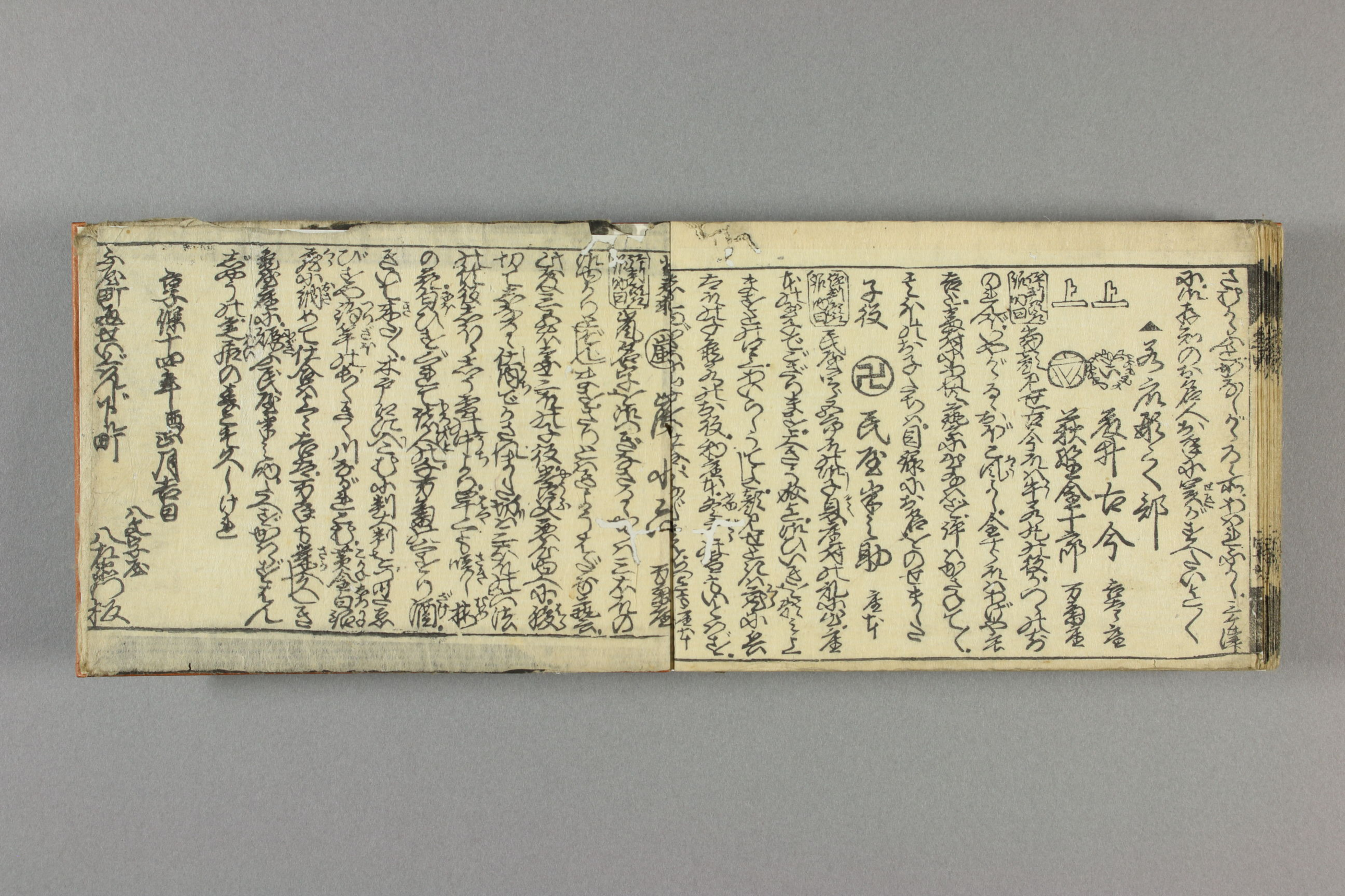
芳沢折の節　まこの屋

評判記曰　表・ってけ・ま・ま・ま・ま・ま・ま・ま

上　三條木七左衛門　尾張屋
上　山口　朝日屋
上　冨沢長兵衛　朝日屋

（乃入弥四郎）　歳暮之部七ツ屋ハ名ハ
ゑ　ゑ　ゑ　

上上

▲元禄十四年丑年　右今　萩野瀧金十郎　百姓

子役　民部常助　百姓